

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

179

病児保育事業

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	1	安心して子供を生み育てることのできる環境の整備
施策	1	安心して子供を生み育てることのできる環境の整備
取組方針	2	子供が健やかに育つことのできる環境づくり

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		民生費	
	項		児童福祉費	
	目		児童保育費	
	大事業		児童保育事業	
	中事業		病児保育事業	

事業種別	継続	関連個別計画	和歌山市子ども子育て支援事業計画		
事業年度	平成24年度 ~ 無し	担当課・担当課長・Tel	保育こども園課	小井淳司	435-1064
事業実施の根拠法令	和歌山市病児・病後児保育事業補助金交付要綱	関連課			

1 事業内容

事業目的	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要		
	保護者が就労等の理由で家庭での保育が困難な場合に、安心して子供を預け、就労等ができる環境を整える。		児童が病気の「回復期に至らない場合」であり、かつ、当面の症状の急変が認められない場合において、当該児童を病院、診療所、保育所等に付設された専用スペース又は専用施設で一時的に保育する。		
事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
	当該施設に対し特別保育事業費交付金の交付	当該施設に対し特別保育事業費交付金の交付	該当する施設に対し交付金を交付する。	該当する施設に対し交付金を交付する。	該当する施設に対し交付金を交付する。

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	12,938	14,703	26,149	18,843	38,680	30,179	33,530	0	33,530	0
伸び率（%）	23%	18.8%	102.1%	28.2%	47.9%	60.2%	△13.3%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	0	3,657	3,669	3,430	3,597	3,597	3,437	0	3,437
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	3,657	3,669	3,430	3,597	3,597	3,437	0	3,437
国庫支出金	4,312	4,962	8,716	7,507	12,893	9,868	11,177	0	11,177	0
県支出金	4,313	4,962	8,716	7,507	12,893	9,868	11,177	0	11,177	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）	4,313	4,779	8,717	3,829	12,894	10,443	11,176	0	11,176	0
所要人数 （人）	正規職員	0.00	0.46	0.46	0.43	0.45	0.45	0.43	0.00	0.43
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	交付金 38,680千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
実施施設数	園	目標値		2	2	2	2	2
		実績値		1	2	2		
		達成度(%)		50%	100%	100%	0%	
延べ利用者数	人	目標値		1200	1200	1300	1300	1300
		実績値		902	981	1068		
		達成度(%)		75.2%	81.8%	82.2%	0%	

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	利用人数が増加していることから、高まる利用ニーズに対応する。
見直し・改善内容	平成28年度は従来の事業に加え、利用の少ない日において、地域の保育所等への情報提供や巡回支援等の実施を行うことで、病児保育事業の充実を図った。また、平成29年度は本事業の対象者を小学6年生までに引き上げた。